

●コース距離：13.2km
●歩行時間：4.0時間

- 1 八丁堀駅
↓1.5km
- 2 日本橋
↓0.5km
- 3 日本銀行本店(本館)
↓2.6km
- 4 昭和館
↓1.0km
- 5 東京大神宮
↓1.8km
- 6 赤城神社
↓1.5km
- 7 宗参寺
↓1.1km
- 8 穴八幡宮
↓1.2km
- 9 甘泉園公園
↓0.3km
- 10 水稲荷神社
↓1.7km
- 11 高田馬場駅



みずいなりじんじや

甘泉園公園に隣接する稲荷神社。もとは現在の早稲田大学の敷地内にあったが大学拡張に伴い現在地に遷座した。境内には安兵衛の決闘を記した碑が建てられている。



かんぜんえんこうえん

西早稲田にある区立の公園。徳川御三卿のひとつである清水家の下屋敷の回遊式庭園が残されている。園内には池や中島、築山、東屋などが整備されており、都会の中のオアシスになっている。

たかたばちま

JR線、西武線、東京メトロ東西線が乗り入れるターミナル駅。実際の高田馬場はここではなく、現在の西早稲田3丁目甘泉園公園の南にあった。



そうさんじ

弁天町にある曹洞宗の寺院。1544年の創建と伝えられる。境内には江戸時代の儒学者山鹿素行の墓がある。山鹿素行は赤穂藩に儒学の師範として召し抱えられていたこともあり、家老大石内蔵助も門弟の一人であった。



あなはちまんぐう

1062年の創建と伝えられる。もともとは高田八幡宮と呼ばれていたが、1641年に境内の山すそを掘っていると横穴が見つかり、中から金銅の御神体が見つかったことからこの名がついた。

Walking Course



快汗ウォーキングコース

水稲荷神社にある堀部安兵衛決闘助太刀の碑

八丁堀から、日本橋、九段を経て神楽坂、早稲田、高田馬場へ。高田馬場の決闘で有名な赤穂四十七士の一人堀部安兵衛の足跡を偲ぶ



1 八丁堀駅

講談「決闘高田馬場」では堀部安兵衛は八丁堀にある長屋に住んでおり、そこから高田馬場まで助太刀のため駆けつけたことになっている。駅近くの亀島橋西詰には堀部安兵衛の碑が建てられている。講談では酒好き、喧嘩好きに描かれているが、実際には実直で几帳面な人柄であったといわれている。

2 日本橋

日本の道路元標がある日本の道路網の起点。最初に掛けられたのは1603年で木造の太鼓橋だった。以後、大火で幾度か焼け落ち、そのたびに架け替えられた。現在の橋は1911年に架けられたもの。



3 日本銀行本店(本館)

辰野金吾の設計により1896年に竣工した。1974年に国の重要文化財に指定された。予約すれば館内見学もできる(月~金)。

4 昭和館

昭和の戦前、戦中、戦後の人々の暮らしを伝える国立の博物館。常設展示室のほか、映像音響室、図書室もあり、昭和という時代の国民生活がよくわかる。



5 東京大神宮

東京のお伊勢様として1880年に創建された。当初は日比谷にあったが1928年に現在地に移された。現在広く行われている神前結婚式はこの神社の創始となる。恋愛、縁結びのパワースポットとして若い女性やカップルの参拝客が多い。



6 赤城神社

1300年に大胡重治が上野国より牛込に移住した際に、赤城山麓にあった赤城神社を早稲田鶴巻町に勧請したのが始まり。その後、太田道灌が現在の神楽坂下に移転したのち、1555年に大胡重行が現在の地に移転したと伝えられる。江戸時代には神田明神、日枝神社と並んで「江戸の三社」と呼ばれ、牛込の総鎮守となっていた。

堀部安兵衛武庸



赤穂四十七士の1人。寛文10年(1670年)、越後国新発田藩溝口家家臣の中山弥次衛門の長男として誕生。元禄元年(1688年)、江戸へ出て剣術修行に励む。

元禄7年(1694年)、義理の伯父にあたる菅野六郎左衛門が行うことになった高田馬場での決闘の助太刀をする。この決闘で安兵衛は見事相手方3名を討ち、武名が大いに上がった。この決闘の話を聞いた赤穂浅野家家臣堀部弥兵衛が安兵衛に養子

縁組を申し入れ、安兵衛は堀部家の養子となった。

元禄14年(1701年)、江戸城松の廊下にて赤穂藩主浅野内匠頭長矩が吉良上野介義央に刃傷におよび、長矩は切腹、赤穂浅野家は改易となった。主君の敵討ちを決意した赤穂浪士47名は元禄15年12月14日本所松阪町の吉良邸に討ち入り、本懐を遂げた。翌年2月に討ち入りを行った赤穂浪士全員に切腹が命じられ、高輪の泉岳寺に葬られた。